

# 平成30年春期 富岡第三地区推進連絡会 議事要旨

## 1 日時

平成30年3月16日（金） 18:00 ~ 20:00

## 2 場所

富岡地域ケアプラザ

## 3 参加者

71名	(地域側) 自治会等地域団体関係 (支援チーム、その他行政側)	51名
	区役所	12名
	区社会福祉協議会、地域ケアプラザ	8名

## 4 内容

### (1) 開会あいさつ

富岡第三地区連合町内会、富岡第三地区社会福祉協議会 会長

### (2) 地域支援チーム統括挨拶

金沢区役所 福祉保健センター長

### (3) 出席者紹介

### (4) 意見交換 「金沢区地域福祉保健計画地区別計画の振り返り」

ア 意見交換の進め方

イ 29年度富岡第三地区地区別計画振り返り

富岡第三地区社会福祉協議会事務局長

富岡第三地区民生委員児童委員協議会地区代表

ウ 意見交換（5グループに分かれてグループワーク）

テーマ「つながりを深めるため、いかに地域の幅広い高齢者が参加できる場を作るか」

### 【現状課題】

- ・地域活動に参加するメンバーが固定化している。そのため、新しい人が参加しにくい雰囲気がある。
- ・趣味の同好会（囲碁、お茶等）が盛んであるが、その参加者を地域活動に結びつけていくことが難しい。
- ・個人情報保護が優先され、情報が集まらず地域活動がやりにくい。
- ・地域活動に新しい人を誘うためのきっかけがない。
- ・町内会館が家から遠い。また坂の上にあるなどの理由で参加したくてもできない人がいる。
- ・定年後も働く人が多く、町内会役員を引き受けてくれる人が少ない。
- ・ラジオ体操は住民同士の良いコミュニケーションの場となっている。
- ・地域活動への男性参加が少なく、活動にどのように巻き込んでいくかが難

しい。

- ・町内会未加入世帯やアパート居住の世帯は状況の把握が難しい。

#### **【現在の取り組み】**

- ・個人同士の小さなつながりを把握するよう努めている。
- ・サロンの種類（料理、散策、コーラス、映画等）を増やすことで、自分に合った活動を選べるように工夫している。
- ・77歳以上の人しか町内会館を使えないルールを設けている。
- ・お祭り等のイベント時に、高齢者用の席を設けることで参加しやすい雰囲気を作っている。
- ・自分から積極的に情報を開示する（親の介護等）ことで、情報や悩みを共有する友人を作っている。
- ・地域活動参加者の固定化について、参加者に「近くの人を誘ってもらおう」などして、少しずつ新しい参加者が増えてきている。
- ・ボランティアや町内会役員を引き受けてくれる人が少ないので、PTAをやっていた人に声をかけることが多い。
- ・炭火焼や焼き芋大会等のイベントを実施してファミリー層を取り込み、隣近所を誘いやすい雰囲気を作り参加者を増やしている。
- ・集まることが好きじゃない人に対しても、根気よく何年も通うことでこちらを向いてもらう。
- ・マンションの一室を借りてサロンを行っている。

#### **【今後の取り組み】**

- ・空き家が増えており、サロン等の場として活用したい。
- ・支え合いマップづくりを進めることで、高齢者同士の小さなつながりを把握していきたい。
- ・8050問題等（※）の民生委員でも把握できない情報を近所の人なら知っていることも多い。そういう情報を吸い上げられる仕組みを作りたい。
- ・町内会の中で組織した班の班長を輪番制にすることで、班長に聞けば町内の高齢者の状況がわかるような体制を作る。
- ・多世代の方が参加する機会（焼き芋大会など）を作る。
- ・いろいろな会や活動があることを知らない人もいる。民生委員さんなどから伝えてもらう。
- ・スタッフ中心から、住民自身が自発的に関われるような工夫をする。
- ・歩けない人がちょっと休める場所、ちょっと集まれる場所などを作っていきたい。
- ・映画鑑賞会が好評であったので、これからも続けていく。流す映画は必ず字幕入りとする。（耳がとおい人への配慮として）
- ・お互いが挨拶する、挨拶できる町にしていきたい。
- ・みんなで何か作品を作るようなことで親睦を深めたい。
- ・町内会の真ん中に町内会館ができると人が集まりやすい。ただ、町内会館

を移動させることは難しいので、送迎車を出して参加者を運べるようにできると良いと思う。

- ・町内会をあげて多世代の日帰り旅行をしたい。子供を交えて高齢者とコミュニケーションがとれ、将来的にも子供にとってよい学べる場となる。
- ・各町内会館があるが、どこの町内会館でも行けるような横のつながりがあればよい。連合一体となっていきやすい会館に行けるような仕組みづくりができればよい。

※8050 問題…引きこもりの状態が長期化して相応の年齢になり、さらに高齢となった親の収入が途絶えたり、要介護状態になることで経済的に一家が孤立・困窮化する問題。80代の親と50代の子の親子関係での問題であることから「8050問題」と呼ばれるようになった。

(5) 平成30年度区づくり推進費等説明

(6) 閉会あいさつ